

解答と解説

1. 解答 d. baked beans and fried potatoes

問題文に「The classic English breakfastに**含まれないもの**」とある点に注意。The classic English breakfastが第1段落第2文でa 'fry-up' と言い換えられ, fried eggs, sausages, bacon, tomatoes, mushrooms, fried bread, black puddingと, それに続く第3文のtea or coffee and hot, buttered toastがthe classic English breakfastに含まれる。これに対して, 第4文のThese daysが話題の転換を行っている点に注目。These days(最近)とThe classic English Breakfast(伝統的なイングリッシュブレックファスト)が**対比**になっており, baked beansやfried potatoesは「**最近の朝食**」に含まれるものであり, 「**伝統的な朝食**」には**含まれないもの**だとわかる。したがってd.が正解だとわかる。

2. 解答 新婚夫婦が初めて一緒に食べる朝食

the 'wedding breakfast'(「婚礼の朝食」)のtheに注目しよう。このtheはその内容が直前に出ていることを示すので, the 'wedding breakfast'はThe first meal the newly married couple ate togetherを言い換えたものだとわかる。日本語でまとめる際に注意すべき点は, まずthe newly married coupleである。newlyは「**新たに**」という意味で過去分詞のmarriedを修飾【説明】し, marriedは「**結婚した**」という意味なので「**新たに結婚したカップル**」や「**新婚の夫婦**」とまとめよう。また, The first mealとthe newly married couple …の間には, **関係代名詞whichまたはthatが省略されている**。したがって, The first meal [which the newly married couple ate [△] together] のようにthe first mealについて説明している。なお, breakfastの説明なので, 「朝食」としてまとめるのが望ましい。

【答案例】 × 新しく結婚したカップルが一緒に**食事**を初めて食べたこと。

【ポイント】 関係代名詞を意識しているかがポイント。「(o) **食事を** (v) **食べた**」では(v)ate (o)the mealの形をまとめたことになってしまう。ここでは**関係代名詞の形The ~ meal [(s)the ... couple (v)ate]**を意識して「[(s) **夫婦が** (v) **食べた**] **食事**」となるようにまとめよう。

3. 解答 d. with

(3)に続いてplenty of silver and glassware(たくさんの銀食器やガラス食器)とon show(展示【陳列】されている)という要素が並んでいることに気づこう。これら2つの要素をA=Bと**いう関係にするには付帯状況のwith O+Cを使うのがよい**。with (o)plenty of silver and glassware (c)on showとすることで「(o) **たくさんの銀食器やガラス食器を** (c) **展示して**」と文脈に合う意味を表すことができる。

4. 解答 産業革命時代の工場での過酷な肉體労働と長時間にわたる作業により, 健康的で充実した食事が朝一番に必要だった。

【構文解説】 (s)The hard physical labour and long hours of work [in the factories of the Industrial Revolution] (v)meant (o)[that (s)a healthy, filling meal first thing in the morning (v)was (c)necessary].

【ポイント①】 〈SVの把握〉 S mean that SVに気づくことが大切。that節がmeanの目的語なので「SはSVするということの意味する」や「Sによって, SVすることになる」のように副詞的に訳してもよい。なお, 以下のような直訳調でもかまわない。「産業革命期の工場での過酷な肉體労働と長時間労働は, 健康的でお腹一杯になる食事が朝一番に必要であることを意味した。」

【ポイント②】 〈各語句の結びつきと意味〉 hard physical labourとlong hours of work がandで結ばれている。それがin the factories of the Industrial Revolutionに修飾され「**産業革命(時代)の工場での過酷な肉體労働と長時間にわたる作業**」という意味になる。また, a healthy, filling mealは形容詞の並列で「**健康的で充実した食事**」という意味。形容詞であるhealthyとfillingがコマとともに連続して出現する時は, 修飾される名詞がその2つの性質を等しく持っていることを表す。first thing in the morningは副詞句で「**朝一番に**」。

【答案例】 × 産業革命期の工場での過酷な**物理的な労働**と長時間労働は, 健康的でお腹一杯になる**食事**の**一番**が午前中に必要であることを意味した。

【ポイント①】 physicalは「**物理的な**」だけでなく「**肉体的**」といった意味もある点に注意。

【ポイント②】 first thing in the morningの訳し間違い。イディオムとして押さえておくようにしましょう。

5. 解答 しかし, 週末には, 朝刊を読みながら, ゆったりとしたフル・イングリッシュブレックファストを味わうのが一番なのではないだろうか。

【ポイント①】 〈修辭疑問文〉 what could be better than ~ で「**～が最高だ**」を表す。これは反語的表現で「～よりよいものなどあるのか」⇒「いやない」という否定的意味を表すので「**than以下の要素が最高だ【一番だ】**」という意味になる。また, 次のような直訳調も可能。「しかし, 週末には, 朝刊を見ながらゆっくとフル・イングリッシュブレックファストをとることよりもよいことは, 何があるのだろうか。」

6. 解答 c. an overview of the English breakfast from the perspectives of its history and culture

「この文章が主に扱っているのは…だ。」

a. 「伝統的なイングリッシュブレックファストの作り方の簡単な歴史」

b. 「イングリッシュブレックファストの話題: イギリスだけでなく, 外国でどのように楽しまれているか」

c. 「**イングリッシュブレックファストの歴史と文化の観点からの概要**」

d. 「イングリッシュブレックファストを初めて食べる人のための入門」

本文全体の内容をたずねる問題。第1段落: イングリッシュブレックファスト(英国式朝食)の中身⇒第2段落: 中世における朝食⇒第3段落: 貴族の朝食⇒第4段落: ヴィクトリア朝以降の英国式朝食の役割⇒第5段落: 最近のイギリスの朝食における英国式朝食, というように, 一貫して**歴史的・文化的観点からイギリスの伝統的朝食, すなわち英国式朝食について述べており**, これと一致するのは選択肢 c.である。

7. 解答 a. F b. F c. F d. T e. T

a. In the Middle Ages, people had breakfast early and late in the morning during the day. (中世の人々は, 日中の午前早くと午前遅くに朝食をとっていた。) 第2段落第3文と合わない。中世の人々の朝食は午前の半ばか終わりの1回だけだった。

b. By the mid-18th century, breakfast had become an important part of the life of the middle classes and working classes as well as that of aristocrats. (18世紀半ばまでには, 朝食は貴族の生活だけでなく, 中産階級や労働者階級の生活の重要な一部となった。) 第3段落の内容と部分的に一致するが第4段落第1, 2文と合わない。中産階級や労働者階級が伝統的な朝食を食べるようになったのはヴィクトリア朝以降のこと。

c. In the 1950s, a traditional English fry-up was enjoyed by less than 20% of the adult population. (1950年代には, 伝統的なイギリスのフライアップを楽しんでいるのは成人人口の20%より少なかった。) 第4段落第4文almost half the adult population(成人のほぼ半数)と合わない。

d. Nowadays, some working people do not eat breakfast during weekdays, and others just eat simple breakfast. (現在では, 平日に朝食を食べない労働者もいれば, 簡単な朝食を食べるだけの人もいる。) 第5段落第1文For some working people nowadays, breakfast midweek is skipped …(最近の労働者の一部は, 週半ばの朝食を食べない)や, for many other people 以下で述べられている朝食の例と一致。

e. Even today, it is socially acceptable to read a newspaper during breakfast. 「**今日でも, 朝食中に新聞を読むことは社会的に認められている。**」第3段落第4文に一致。it is still socially acceptable today to read newspapers at the breakfast tableがポイント。

【構文ピックアップ】 〈時代・期間・場所 + see + O〉の訳出の〈see O 動詞の原形〉の形への応用

第4段落第1文: The Victorian era saw a wealthy middle class begin to emerge in British society: as the middle classes went out to work, breakfast began to be served earlier, typically before 9 am.

・時代・期間・場所が主語になるとき, seeの意味は「Oを目撃する」→「Oが起こる」となる。それは知覚動詞を用いた第5文型の場合(see O動詞の原形【現在分詞/過去分詞】)でも同じ。

・ここでは〈**ヴィクトリア朝 = 裕福な中産階級が誕生した時代**〉という関係性があることを押さえておこう。

英文解説と全訳

★印：それぞれの段落の要旨

《段落1》

- ①(1) The classic English breakfast is part of our national culture.
- ②Sometimes also called a 'fry-up', it consists of fried eggs, sausages, bacon, tomatoes, mushrooms, fried bread and often a slice of 'black pudding' (blood sausage).
- ③It is accompanied by tea or coffee and hot, buttered toast.
- ④These days, breakfast may also include other items such as baked beans and fried potatoes.

《段落2》

- ①The tradition of breakfast dates back to the Middle Ages.
- ②At this time, there were usually only two meals a day: breakfast and dinner.
- ③Breakfast was served mid or late morning, and usually consisted of just weak beer and bread, with perhaps some cheese or cold meat.
- ④A generous breakfast was often served by the upper classes at social or ceremonial occasions such as weddings.
- ⑤A wedding ceremony had to take place before noon, so all weddings took place in the mornings.

⑥The first meal [the newly married couple ate together] would therefore be breakfast and became known as the 'wedding breakfast'.

《段落3》

- ①By the mid-18th century, breakfast had become an important part of aristocratic life.
- ②Breakfasts were unhurried affairs (3) plenty of silver and glassware on show to impress the host's guests.
- ③Newspapers were available for the family and guests to catch up on the day's news.
- ④Indeed, it is still socially acceptable today to read newspapers at the breakfast table (a definite taboo at any other meal).

《段落4》

①The Victorian era saw a wealthy middle class begin to emerge in British society: as the middle classes went out to work, breakfast began to be served earlier, typically before 9 am.

《段落1》★イングリッシュブレックファーストの中身はどのようなものか。

- ①伝統的なイングリッシュブレックファーストは私たちの国の文化の一部です。
- ②「フライアップ」と呼ばれることもありますが、目玉焼き、ソーセージ、ベーコン、トマト、マッシュルーム、揚げパン、そしてしばしば「ブラックプディング」(ブラッドのソーセージ)のスライスで構成されています。
- ③それには紅茶やコーヒー、バターを塗った熱いトーストが付きます。
- ④最近では、バイクドビーンズやフライドポテトなど、他のメニューが含まれることもあります。

《段落2》★中世における朝食

- ①朝食の慣習は、中世にさかのぼります。
- ②この時代、食事は1日2回、朝食と夕食だけであるのが普通でした。
- ③朝食は午前の半ばか終わりに提供され、通常、弱いビールとパンのみ、時にはそれにチーズや冷たい肉が添えられていました。
- ④上流階級では、結婚式などの社交行事や儀式の際に、豪華な朝食が振る舞われることが多くありました。
- ⑤結婚式は正午までに行わなければならなかったもので、結婚式はすべて午前中に行われました。

⑥そのため、新婚の夫婦が最初に一緒に食べる食事が朝食となり、「婚礼の朝食」として有名になったのです。

《段落3》★貴族の朝食

- ①18世紀半ばまでに、朝食は貴族の生活の重要な一部になりました。
- ②招待客の印象に残るように、たくさんの銀食器やガラス食器が並べられ、朝食はゆとりのある催しとなったのです。
- ③新聞が、家族や客がその日のニュースを知ることができるように用意されていました。
- ④実際、現在でも朝食の席で新聞を読むことは社会的に認められています (他の食事では絶対にタブーですが)。

《段落4》★ヴィクトリア朝以降にイングリッシュブレックファーストが果たした役割

①ヴィクトリア朝では、イギリス社会には裕福な中産階級が誕生しました。そして、中産階級が働きに出るようになると、朝食が早まり、一般的に午前9時前に提供されるようになりました。

1.

7.a

2.

7.b

7.e

7.b

②Surprisingly, the full English breakfast was also enjoyed by many of the working classes during this period.

③(4)The hard physical labour and long hours of work in the factories of the Industrial Revolution meant that a healthy, filling meal first thing in the morning was necessary.

④Even as late as the 1950s, almost half the adult population began their day with a good old English fry-up.

《段落5》

①For some working people nowadays, breakfast midweek is skipped altogether; for many other people, it often consists of just a piece of toast and a cup of instant coffee taken on the move.

②But at weekends, what could be better than a leisurely full English breakfast with the morning papers?

②驚くべきことに、フル・イングリッシュブレックファーストをこの時代に労働者階級の多くの人々も楽しんでいました。

③産業革命時代の工場での過酷な肉体労働と長時間にわたる作業により、健康的で充実した食事が朝一番に必要でした。

④1950年代になってさえ、成人のほぼ半数が、古きよき英国式のフライアップで1日を始めていました。

《段落5》★最近のイギリスの朝食事情

①最近の労働者の一部は、週半ばの朝食をまったく食べないこともありますし、他の多くの人にとっても、朝食は、移動中にほんの1枚のトーストとインスタントコーヒー1杯で済ませることが多いのです。

②しかし、週末には、朝刊を読みながら、ゆったりとしたフル・イングリッシュブレックファーストを味わうのが一番なのではないでしょうか。

要約 イングリッシュブレックファーストは中世に始まり、18世紀までに貴族に広まり、ヴィクトリア朝以降中産階級や労働者階級にまで及んだ。今日も、平日に食べる人は減ったが週末にゆったり楽しめる食事であり続けている。(100字)

表中の(1)。(2) …はサポートノートの「1. Words & Phrases」の解答を表します。

Vocabulary

L2	a fry-up	「炒め物」	
L2	consist of ~	「～から成る」	(1)
L4	be accompanied by ~	「…を伴う、…が添えられる」	(2)
L6	date back to ~	「…(ある時代・時期)にさかのぼる」	(3)
L6	the Middle Ages	「中世」	
L9	generous	「気前のよい; 大きい」	(4)
L10	upper class(es)	「上流階級」	
L11	take place	「行われる」 ※「行う」ではない点に注意。	(1)
L12	newly	「…したばかりの; 新たに」	
L15	unhurried affairs	「ゆとりのある【急がない】出来事」	
L16	glassware	「ガラス製品」	
L16	on show	「展示【陳列】されて」	(6)

L17	catch up on ~	「(最新の情報などを)知る、遅れを取り戻す」	(7)
L18	definite	「まぎれもない; 明確な」	(8)
L18	taboo	「タブー; 禁止事項」	
L20	S(時代など)see ~	「Sが～を目撃する; Sに～が起こる」	
L20	emerge	「現れる」	(9)
L22	typically	「一般的に; 典型的に」	(10)
L23	physical labour	「肉体労働」	(11)
L24	the Industrial Revolution	「産業革命」	
L26	as late as ~	「つい～まで」	(12)
L28	midweek	「週の半ばに」	(13)
L30	take ~ on the move	「移動中に～を食べる」	
L31	leisurely	「のんびりとした」	(14)
L31	morning paper	「朝刊」	

サポートノート解答

- Vocabulary で単語の意味を確認しましょう。
- (1) accompanied by (2) two meals a day (3) take place (4) unhurried, with, on show (5) as late as, almost half
- (1) include other items (2) had to take place, took, mornings (3) available, for, to, catch, up, on
- Tips① 時代・場所 Tips② 比例、～するにつれて、比較級
- (1) 国民文化 (2) 朝食と夕食の1日2回, (3) 社交や儀式 (4) 銀食器やガラスの食器 (5) 裕福な中産階級と労働者階級の人々 (6) 朝食を取らない、あるいは移動中にトースト1枚とインスタントコーヒーで済ませてしまうというもの。

Let's Try 解答例 I agree with this idea. Eating a good meal in the morning gives us a lot of energy to be active during the day. Breakfast increases our concentration. Not eating breakfast is bad for our health and we will get hungry. Therefore, breakfast is important to maintain our performance. (49 words)